

【NRCLレポート】 2016 リオ オリンピックについての調査 中間結果報告

2016年6月調査結果

 **日本リサーチセンター**
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL:03-6667-3400 (代) FAX:03-6667-3470
<http://www.nrc.co.jp/>

◆ NRCLレポート

日本リサーチセンター（NRC）では、**全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査（NOS）**を、毎月定期的を実施しております。対象者の数は、エリア・都市規模と性年代が日本の人口構成に合致するよう設定していますので、全体結果は、日本全国15～79歳男女の実態や意識をバランスよく反映したものとご覧になれます。

本レポートは、NOSを利用した弊社自主調査「**2016 リオデジャネイロ オリンピック**」についての中間結果の紹介です。今年の8月に、ブラジル・リオデジャネイロで「第31回夏季オリンピック競技大会」が開催されますが、本調査では、競技別のテレビ等の観戦意向とメダルへの期待について質問してみました。

7月にも「2016 リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピック」についての自主調査を予定しており、本レポートはその中間報告となります。次回では、今回と同一の質問に加え、「2016 リオデジャネイロ パラリンピック」についてもご紹介します。

◆ 6月の調査項目（6/2～6/14実施）

【オリンピックについて】

- ① テレビなどで観戦したいと思う競技
- ② メダル獲得を期待している競技



本レポート（中間報告）

◆ 7月の調査項目（7/6～7/18実施）

【オリンピックについて】

- ① テレビなどで観戦したいと思う競技
- ② メダル獲得を期待している競技

【パラリンピックについて】

- ① 知っている競技
- ② テレビなどで観戦したいと思う競技
- ③ パラリンピック大会・競技のテレビ視聴経験



次回レポート（6月と7月調査結果）

◆ 主な結果は以下の通りです。

【リオオリンピック28競技と「開会式」「閉会式」の観戦意向】

1) リオオリンピックで観戦意向が最も高いのは「体操」

- 全体では、「体操」（58%）、「開会式」（55%）、「水泳」（53%）の観戦意向が5割を超える。次いで、「陸上競技」「サッカー」「バレーボール」が4割台、「柔道」と「閉会式」が3割台と続く。
- 「開会式」は5割以上が見たいと答えた一方で、「閉会式」を見たいという人は約3割。「開会式」と「閉会式」では20ポイント以上の差が開いた。

2) 「サッカー」「柔道」は男性で、「体操」「開会式」「水泳」「バレーボール」「閉会式」は女性でより観戦意向が高い

- 男女別にみると、「サッカー」と「柔道」は女性よりも男性に観戦意向が高く、「体操」「開会式」「水泳」「バレーボール」「閉会式」は女性の方が高い。

3) 男性は50代以上、女性は40代以上の年代で関心が高い

- 男性は50代以上、女性は40代以上で観戦意向の高い競技が多く、若い人よりも上の年代の方がリオオリンピックに対する関心が高いと言える。
- 若年層では、30代以下の男性は「サッカー」、15~29才男性は「ラグビー」「バスケットボール」が他の年代層よりも高い。

【メダルへの期待】

4) 「体操」は、観戦意向とメダルへの期待がともにトップスコア

- メダルへの期待は、「体操」(66%) が最も高く、次いで、「水泳」(58%)、「柔道」(51%) の順。
- この後は、「レスリング」(35%)、「卓球」(29%)、「陸上競技」(26%)、「バレーボール」(22%)と続く。
- 「体操」は、観戦意向が58%、メダルへの期待が66%と、いずれもトップスコアである。

- 「体操」「水泳」「柔道」は、観戦意向とメダルへの期待がともに高いが、「陸上競技」「サッカー」「バレーボール」は、観戦意向の高さに比べるとメダル獲得への期待は低い。

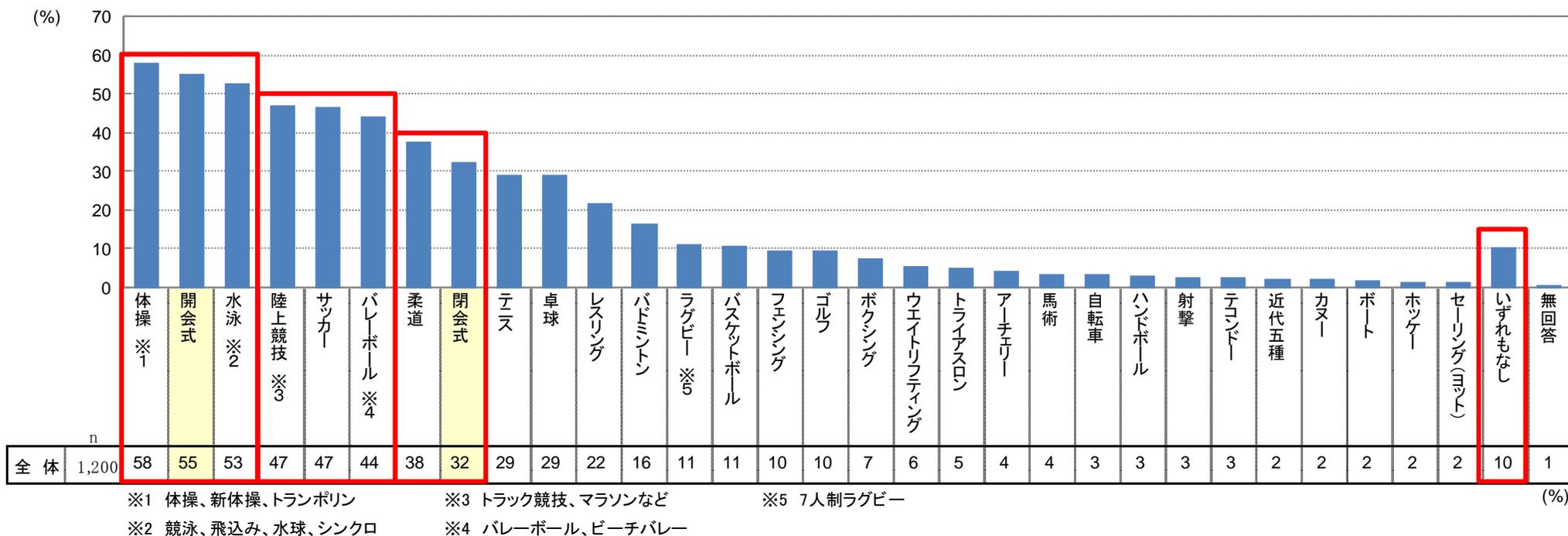
5) 「体操」と「水泳」は、男女ともに幅広い年代層から、メダルへの期待が大きい

- 「体操」と「水泳」は、男女どの年代でも5割以上の人からメダル獲得を期待されている。
- 「柔道」は、女性よりも男性からの期待がより大きい。
- 「レスリング」は、50代以上の男性と30代女性、「卓球」は、50代と70代女性からの期待が約4割以上と高い。

- ◆リオ オリンピックの28競技と開会式、閉会式の計30の選択肢を提示し、テレビなどで観戦したいと思うものをいくつでも答えてもらった結果である。
- ◆全体では、「体操」(58%)、「開会式」(55%)、「水泳」(53%)の3つが5割超と人気が高い。次いで、「陸上競技」「サッカー」「バレーボール」が4割台、「柔道」と「閉会式」が3割台と続く。
- ◆「開会式」は5割以上が見たいと答えた一方で、「閉会式」を見たいという人は約3割と、「開会式」と「閉会式」では20ポイント以上の差が開いた。
- ◆また、「いずれもなし」(10%)と、オリンピック観戦に興味のない人が1割程度いる。

Q 今年2016年8月5日～8月21日に、ブラジル・リオデジャネイロで「第31回夏季オリンピック競技大会」が開催されます。次の中で、あなたが「テレビなどで観戦したい」と思う競技はどれですか。あてはまるものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)

■ 全体 (多い順に並び替え)



- ◆ 男女別にみると、「サッカー」と「柔道」は女性よりも男性に観戦意欲が高く、「体操」「開会式」「水泳」「バレーボール」「閉会式」は女性の方が高い。
- ◆ 男女×年代別では、男性は50代以上、女性は40代以上で観戦意欲の高い競技が多く、若い人よりも上の年代の方がリオオリンピックに対する関心が高いと言える。
- ◆ 30代以下の男性では「サッカー」、15~29才男性では「ラグビー」「バスケットボール」など、若年層でも比較的意欲が高いものはみられるが、40代男性や30代以下の女性では他と比べて特に高いものはなかった。
- ◆ 競技ごとにみると、「体操」「水泳」「陸上競技」「柔道」などは、男女ともに50代以上で高い傾向がある。また、「卓球」は50代以上の女性、「レスリング」「ゴルフ」は50代以上の男性で高くなっている。

■ 男女×年代別（全体で10%以上のもののみ/全体の多い順）

		n	体操 ※1	開会式	水泳 ※2	陸上競技 ※3	サッカー	バレーボール ※4	柔道	閉会式	テニス	卓球	レスリング	バドミントン	ラグビー（7人制ラグビー）	バスケットボール	フェンシング	ゴルフ
全体		1,200	58	55	53	47	47	44	38	32	29	29	22	16	11	11	10	10
男性		596	53	51	48	48	52	36	43	27	27	26	23	15	14	13	9	13
女性		604	63	59	58	46	41	52	33	38	32	31	20	18	9	9	10	6
男性	15~29才	112	31	41	35	35	60	35	23	20	31	25	15	17	18	25	11	4
	30~39才	97	47	42	38	38	60	34	37	24	29	21	20	12	12	14	7	6
	40~49才	109	42	46	39	42	47	33	33	25	26	17	15	10	6	6	6	10
	50~59才	92	70	53	60	60	63	55	58	28	33	30	35	20	18	12	9	21
	60~69才	108	67	57	60	56	44	31	50	27	19	31	27	15	9	4	8	16
	70~79才	78	69	72	59	63	37	28	65	44	21	36	33	14	19	14	17	24
女性	15~29才	108	37	36	33	27	32	43	13	20	24	11	12	13	6	12	4	1
	30~39才	97	49	54	54	35	45	45	26	30	32	19	21	11	5	11	5	1
	40~49才	105	61	66	65	52	45	53	34	37	36	26	27	17	9	9	11	5
	50~59才	91	80	60	65	56	55	70	38	43	31	48	25	24	11	8	14	9
	60~69才	111	78	69	69	54	35	50	43	51	36	39	22	19	12	7	10	13
	70~79才	92	75	71	62	51	37	52	43	46	32	50	16	26	10	9	17	11

※1 体操、新体操、トランポリン

※2 競泳、飛込み、水球、シンクロ

※3 トラック競技、マラソンなど

※4 バレーボール、ビーチバレー

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い (%)

- ◆男女×年代別に、テレビなどで観戦したいもの上位5位をまとめてみた。
- ◆男女各年代のほとんどの層で、観戦意向の第1位は5割を超えている中、40代男性では第1位の「サッカー」でも47%、15~29才女性では第1位の「バレーボール」でも43%と5割を下回っており、他の年代と比べて本大会への関心の低さがうかがわれる。
- ◆全体3位の「水泳」は、男女各年代を問わず上位5位にランクされ、比率の高さだけでなく、順位でみても人気の高い競技であることがわかる。
- ◆全体4位の「陸上競技」は、30代以下の若年女性を除けば、いずれも上位5位に入っている。
- ◆全体5位の「サッカー」は、40代以下の男性では1位、50代男性では2位であり、また、30代以下の女性でも4位~5位と、若い年代を中心に人気が高い。
- ◆「バレーボール」は、60代を除くすべての女性と、15~29才男性で、また、「柔道」は50代以上の男性で、上位5位に入っている。

■ 男女×年代別（上位5位）

		n	1位		2位		3位		4位		5位		
全	体	1,200	体操 ※1	58	開会式	55	水泳 ※2	53	陸上競技 ※3	47	サッカー	47	
男	性	15~29才	112	サッカー	60	開会式	41	水泳	&	陸上競技	&	バレーボール ※4	35
	30~39才	97	サッカー	60	体操	47	開会式	42	水泳	&	陸上競技	38	
	40~49才	109	サッカー	47	開会式	46	体操	&	陸上競技	42	水泳	39	
	50~59才	92	体操	70	サッカー	63	水泳	&	陸上競技	60	柔道	58	
	60~69才	108	体操	67	水泳	60	開会式	57	陸上競技	56	柔道	50	
	70~79才	78	開会式	72	体操	69	柔道	65	陸上競技	63	水泳	59	
女	性	15~29才	108	バレーボール	43	体操	37	開会式	36	水泳	33	サッカー	32
	30~39才	97	開会式	&	水泳	54	体操	49	サッカー	&	バレーボール	45	
	40~49才	105	開会式	66	水泳	65	体操	61	バレーボール	53	陸上競技	52	
	50~59才	91	体操	80	バレーボール	70	水泳	65	開会式	60	陸上競技	56	
	60~69才	111	体操	78	開会式	&	水泳	69	陸上競技	54	閉会式	51	
	70~79才	92	体操	75	開会式	71	水泳	62	バレーボール	52	陸上競技	51	

※1 体操、新体操、トランポリン

※2 競泳、飛込み、水球、シンクロ

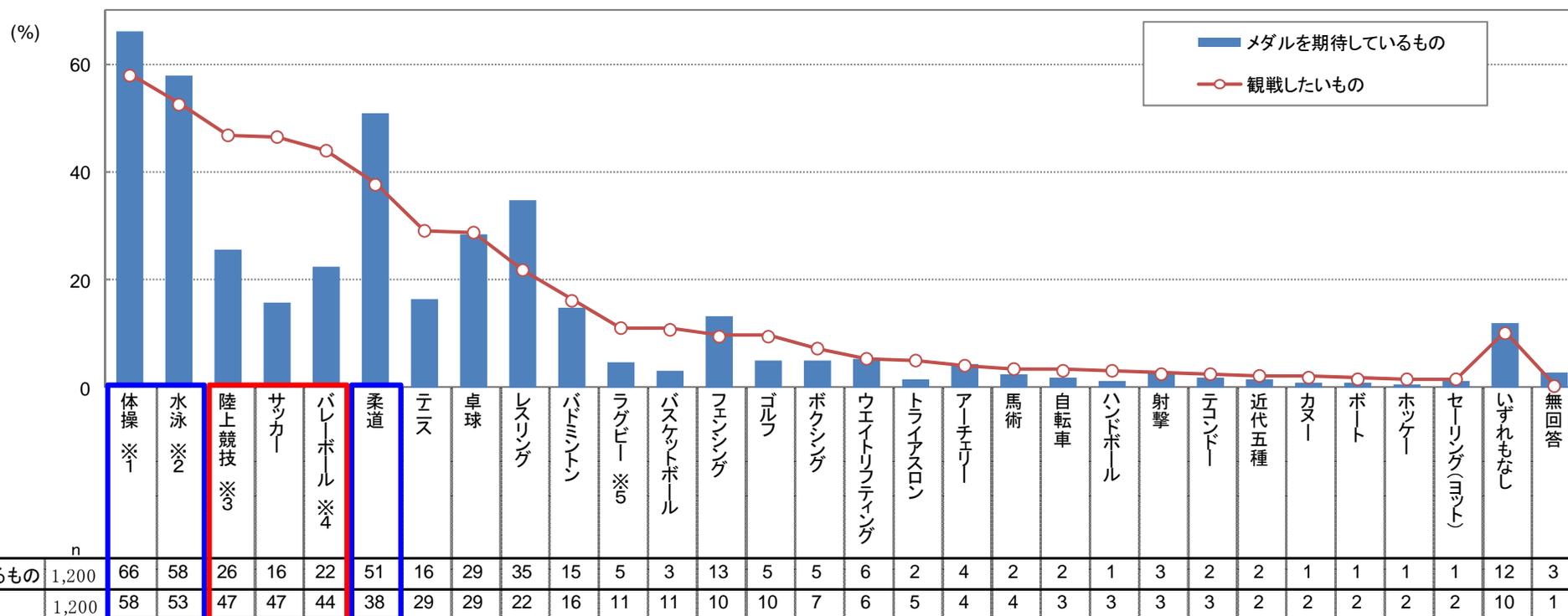
※3 トラック競技、マラソンなど

※4 バレーボール、ビーチバレー

- ◆次に、「日本がメダルを取れそうだ」と期待している競技はどれかをいくつか回答してもらった結果である。比較対象として、観戦意向率を折れ線で表示した。
- ◆全体で、最も高いのは「体操」(66%)で、次いで「水泳」(58%)、「柔道」(51%)の順。この後は、「レスリング」(35%)、「卓球」(29%)、「陸上競技」(26%)、「バレーボール」(22%)と続く。「体操」は観戦意向も、メダルへの期待も、ともにトップスコア
- ◆「体操」「水泳」「柔道」は、観戦意向とメダルへの期待がともに高いが、「陸上競技」「サッカー」「バレーボール」は、観戦意向の高さに比べるとメダル獲得への期待は低い。
- ◆一方で、「いずれもなし」(12%)と、本大会で日本のメダルをまったく期待していない人は1割程度である。

Q あなたが「日本がメダルを取れそうだ」と期待している競技はどれですか。(○はいくつでも)

■ 全体 (観戦したいものの順に並び替え)



※1 体操、新体操、トランポリン
 ※2 競泳、飛込み、水球、シンクロ

※3 トラック競技、マラソンなど
 ※4 バレーボール、ビーチバレー

※5 7人制ラグビー

(%)

- ◆男女×年代別にみると、「体操」と「水泳」は、男女どの年代でも5割以上の人からメダル獲得を期待されている。
- ◆「柔道」は、女性よりも男性からの期待がより大きい。
- ◆「レスリング」は、50代以上の男性と30代女性、「卓球」は、50代と70代女性からの期待が約4割以上と高い。
- ◆また、「テニス」と「サッカー」は15～29才男性、「バドミントン」は50～69才男性からの期待が2割以上みられる。

■ 男女×年代別（メダルを期待しているもの 全体で10%以上のもののみ/全体の多い順）

		体操 ※1	水泳 ※2	柔道	レスリング	卓球	陸上競技 ※3	バレーボール ※4	テニス	サッカー	バドミントン	フェンシング
n												
全体	1,200	66	58	51	35	29	26	22	16	16	15	13
男性	596	64	55	58	38	26	26	19	16	16	17	13
女性	604	68	60	44	32	31	25	26	17	16	13	13
男性	15～29才	51	53	40	35	23	25	23	22	21	16	13
	30～39才	61	52	51	30	26	26	21	20	19	15	18
	40～49才	59	52	56	32	20	25	17	11	12	13	13
	50～59才	72	62	72	40	32	29	28	17	21	23	12
	60～69才	75	57	66	46	31	22	12	11	9	20	13
	70～79才	69	58	68	44	27	33	10	12	14	13	13
女性	15～29才	55	51	34	28	23	17	26	17	20	13	14
	30～39才	61	70	48	43	27	25	24	21	18	11	14
	40～49才	66	64	44	36	29	25	30	17	14	12	14
	50～59才	79	56	53	36	41	32	22	14	8	11	18
	60～69才	77	64	44	25	29	28	24	17	14	14	8
	70～79才	75	55	41	26	39	26	32	17	18	15	12

※1 体操、新体操、トランポリン
 ※2 競泳、飛込み、水球、シンクロ

※3 トラック競技、マラソンなど
 ※4 バレーボール、ビーチバレー

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2016年6月調査 2016/6/2 ～ 2016/6/14

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式（オムニバス）の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**